

東山区 ボランティアセンターだより

ボランティアセンターでは、区内ボランティアグループの交流や多様な担い手とのネットワークづくり、ボランティアさんの養成や活動の啓発を行っています。
また、車いすの貸出しやボランティア保険の加入受付も行っていきます。

区内で活動中の 団体を紹介

東山協立スクール (NPO法人 東三条希望の会)



安田代表

地域で子どもたちの顔が見える関係づくりや子どもたちの居場所になるような活動を継続して行っています。食事の提供や学習支援、野菜づくりなどを大学生の協力を得ながら取り組みを進めて、6年が経過しました。この取り組みは、子どもたちに安心した居場所を作るだけでなく、多世代の交流の取り組みなどを通して子どもたちに関わる地域の輪をつくらうとしています。



活動の様子

日時 毎週水・木曜日 17:00から20:00

場所 東山高齢者ふれあいサロン (花見小路通三条下る教養町)

連絡先 安田茂樹 (代表携帯電話)090-1020-1555

入って
安心!

ボランティア活動をする人のための 保険

安全かつ安心してボランティア活動に取り組めるよう、ボランティア活動保険に加入することをおすすめします。

- **年間保険料:250円**～活動に合わせてプランを選択
※災害時のボランティア活動には別途保険加入が必要となります。
- **加入期間:保険料振込日の翌日～当該年度の3月31日までが保険期間となります。**(年度単位)

ボランティア団体等が行う非営利で公益的な行事に掛ける保険もあります。
詳しくは東山区社会福祉協議会 TEL:075-551-4849 までお尋ねください。

日常生活自立支援事業

生活支援員
募集中!

認知症や障害などにより自分ひとりで判断することが不安で困っておられる方のために、福祉サービスの利用や毎日のお金の管理、郵便物の書類確認などをサポートし、地域で安心して生活が送れるようお手伝いする事業です。利用には事前のお申込みが必要です。また、お手伝いして下さる方(呼称:生活支援員)を募集しています。

生活支援員さんのとある一日

- 9:00 自宅訪問。お手伝いの内容を確認
- 9:15 銀行へ行く。(家賃などのお支払いをすることもあります)
- 9:30 自宅に戻る。支援内容を確認したり相談を聞く
- 10:00 支援終了

社会福祉法人 京都市東山区社会福祉協議会

〒605-0863 京都市東山区五条通大和大路東入5丁目
梅林町576-5 「やすらぎ・ふれあい館」内

TEL:075-551-4849

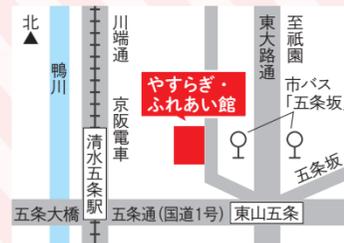
FAX:075-551-4858

e-mail:yasufurekan@yasufurekan.com

ホームページ



Instagram



みんなの街「東山区」の福祉情報をお届けします!

広報誌

ひがしやま

Vol. 22

2021年2月

編集・発行 / 社会福祉法人京都市東山区社会福祉協議会

この広報誌は、共同募金
分配金を財源として
発行しています。



第4期

東山区地域福祉活動計画が スタートしました

令和2年度は生活や社会が大きく変わったウィズコロナ時代。そんな時だからこそ地域の力を活かしてつながりを絶やさず、感染対策をとりながら様々な地域活動が行われました。

第4期活動計画では、ウィズコロナ社会でも年齢や障害などに関係なく誰もが安心して暮らし続けることのできる社会を目指して、地域のみなさんや、東山区で活動している様々な方と連携し、互いに助け合う仕組みづくりや新たなつながりづくりを目指します。詳細は中をご覧ください。



第4期

東山区地域福祉活動計画をスタート!

令和2年4月～令和6年3月

5つの重点目標に基づいて進める 区社協の取組み

それぞれの地域性やウイズコロナ社会など時代の変化と共に変わる課題をふまえ、右の目標の実現に向けて多くの方々に参加・関心を広げるとともに共有しながら取り組めます!

福祉教育



中学生を対象に車椅子講習会を実施

デイ銭湯



障害児者のためのデイ銭湯事業では、ボランティアが話し合いながら活動しています。

東山区災害ボランティアセンター



ボーイスカウトの子たちに紙芝居を使って区災害ボランティアセンターを紹介。

コロナ禍でもつながりたい

リモートの勉強会



学区社協の配食サービス



コロナに負けない地域の見守り



学区社協の寝具クリーニング



子育てサークル

子育てサークルの活動を支援しています。



東山区内の子育てを応援しています。

地域の方作製のマスクを児童館の子たちにお渡し。地域と繋がりました。



1

住民主体の地域福祉活動の推進と学区社協重点目標の推進

学区社協の「学びあう・ふれあう・支えあう」の3つの活動や、さまざまな人による活動をサポートします。

2

支え合い活動の促進、担い手の養成・支援

地域や暮らしの困りごとにスポットをあて、子どもから大人まで、多様な人の参加や協力を目指します。

3

地域福祉推進委員会の展開とネットワーク構築

高齢・障害・子どもをはじめ、分野を越えて困りごとを共有し、福祉施設や地域の方々と連携した取り組みを目指します。

4

課題を抱える人への支援を通じた理解と連携

制度の狭間でサービスが使えない、支援を拒否するなど孤立しがちな人に寄り添い、必要な制度や地域の人たちにつなぎます。

5

推進のための基盤整備

これらの取り組みの大切さ、素晴らしさを伝え、多くの人から賛同と協力を得て、地域活動へのより一層のサポートを目指します。

活動理念

「お互いを認め合い、お互いに支え合い、お互いが集い合える心ゆたかな“ひがしやま”」

生活環境の改善や人間関係の再構築など、本人と共に一歩ずつ進めています。

みなさんがお住まいの地域でどのような福祉課題があるのか、解決するにはどうすればよいのか、

一緒に考え、誰もが安心して暮らせる福祉のまちをつくりましょう!